

福島第一原子力発電所 サブドレン他浄化装置前処理 フィルタ 2 B 保温材下部からの水の滴下について

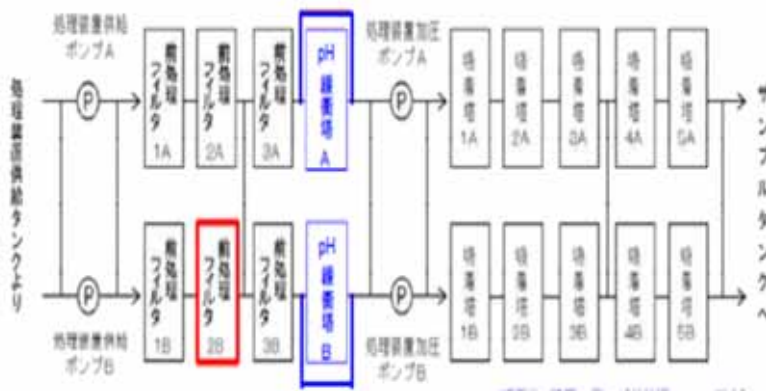
< 参 考 資 料 >
2 0 2 0 年 5 月 2 5 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

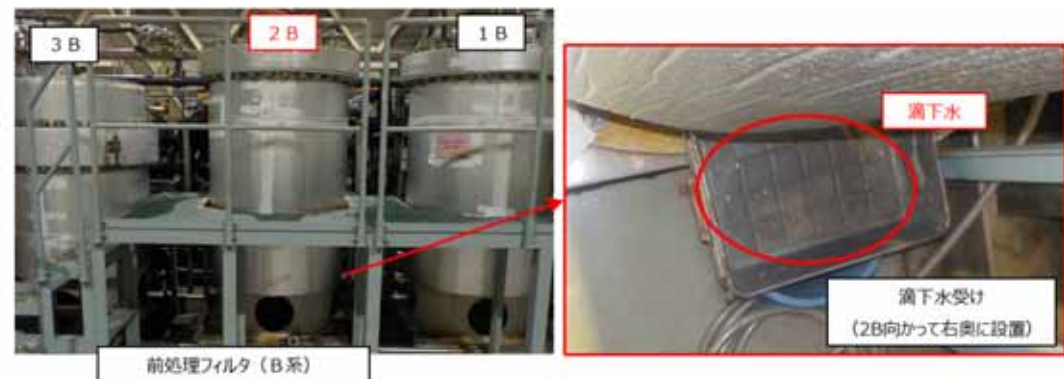
- 5月22日午後5時5分頃、サブドレン他浄化装置前処理フィルタ 2 B 保温材下部からの滴下水が通常より多く（1秒に1滴）、漏えいパンに滴下していることを当社社員が発見しました。
- なお、当該滴下箇所については、同日中に当該フィルタ部を隔離、水抜きを実施し、現在滴下は停止しております。
- 滴下した水をサーベイした結果、バックグラウンドと同等でしたが、滴下量が多いことから、詳細な分析を実施したところ、系统中的セシウム137の濃度（約100Bq/L）と同等であることから系統からの漏えいの可能性が高いと推測しております。

分析結果 セシウム134:7.2Bq/L セシウム137:97Bq/L

- また、この滴下に伴う建屋外部への漏えいはなく、敷地周辺モニタリングポスト、連続ダストモニタに有意な変動はありません。
- 今後、滴下の原因を調査し、必要な対策を講じてまいります。



【サブドレン他浄化装置系統構成図】



【現場写真】